

課題 16 今の日韓関係を、メディアの視点から調べてみよう

日本から一番近い外国、韓国。皆さんの中には、行ったこともある方も少なくないかもしれません。この隣国との関係が、必ずしも良好とはいえない状況になることもあります。それぞれの国に、政府レベルではいろいろな立場・事情があることを、ニュースをよく見たり読んだりしている方はお分かりかと思います。

しかし、日本と韓国の一般大衆の間では、両国民が共通に楽しんでいる「メディアコンテンツ」がたくさんあります。ここでいう「メディアコンテンツ」とは、映像・写真、音楽、文章・文字などの手段を使って表現された「中身」という意味です。

皆さんは、「気の合う友人」というのが一人や二人はおられると思います。この「気の合う」というのは、実はほとんどの場合、上述したいずれかの「メディアコンテンツ」の好みが共通していることが多いのです。

ということは、日韓両国で共通に楽しまれている「メディアコンテンツ」が少ない、ということは、政治的な状況はともかく、実は日韓の一般大衆はお互いに「気が合う」ということを意味しているのかもしれない。

こうした問題意識を踏まえて、以下の課題を考えてみてください。

(1) 日韓間で、「共通して楽しまれているメディアコンテンツ」にはどのようなものがあるのかを調べよう。

(2) 最近の厳しい両国関係が、これらの「共通して楽しまれているメディアコンテンツ」に影響を与えているのか否かを調べ、それはなぜか、またその是非について考えてみよう。

【参考】

デイビッド・マックニール (2019) 「収束しない日韓問題」『毎日ウィークリー』 9月14日号、
<https://mainichi.jp/weekly/articles/20190912/wek/00m/040/002000c>
(2019年9月13日確認)。